

# 1. 2022年度事業報告

(2022年4月1日から2023年3月31日)

## 【企画運営活動】

### 1. 第39回社員総会

2022年5月27日、大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1丁目8番4号)において開催した。代議員総数130名のうち、119名(内13名出席、委任状106名)が出席し、代議員の過半数である定足数を満した。第39回社員総会の成立を確認した後、次の議案を審議し、満場一致で承認決議を行った。

- (1) 2021年度事業報告承認の件
- (2) 2021年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- (3) 2022年度役員選任の件
- (4) 名誉会員推戴の件
- (5) その他

報告事項1. 2022年度事業計画報告の件、報告事項2. 2022年度収支予算報告の件、報告事項3. 新終身会員報告の件

### 2. 理事会 (4/26、8/30、12/8、1/26、3/29)

本会の意思決定機関として、本会の事業活動を担っている事業企画委員会、会誌委員会、各種委員会、特別委員会等の活動状況の報告をうけ、定款によって定められた審議事項並びに会全体の運営に係わる事項について審議・決定した。

### 3. 委員会

会長の諮問に答え、また委員会規程に基づき各種の業務執行にあたる。2022年度は下記11の委員会及び監査会を開催した。

#### (1) 人事・財務委員会 (2回) (4/4、7/25)

事務局職員の人事・給与および本会の予算案の編成並びに経理と財務を掌理し、長期的財政の安定を図るために委員会を開催し、本年度の予算の執行、次年度の予算について審議し、理事会に提案した。

#### (2) 事業企画委員会 (6回) (4/13、6/15、8/23、10/17、12/14、2/20)

本会の目的達成に必要な事業の企画・運営のための委員会を開催した。

#### (3) 会誌委員会 (12回) (4/6、5/10、6/7、7/6、8/9、9/2、10/7、11/4、12/12、1/6、2/7、3/7)

会誌の編集、刊行を掌理するために編集委員会を開催した。

#### (4) 技術賞委員会

##### 化学技術賞審査委員会 (1回) (3/20)、技術賞委員会 (2回) (4/12、12/7)

表彰規定に基づき化学・環境技術賞授賞者の選考を行うために、技術賞委員会と審査委員会を開催し、2022年度の授賞者を選定した。

#### (5) 総務委員会 (2回) (7/20、12/27)

総務的事項並びに他の委員会に該当しない事項で、本会の運営上必要かつ重要な事項について審議し、理事会へ提案した。

#### (6) 合同事務局運営委員会 (2回) (6/21、9/13)

一般財団法人大阪科学技術センタービル608号室に同居する化学系の学術5法人の運営に関する事項について委員会を開催し、部屋代、人件費、社会保険料、事務局運営経費等の分担経費を決定した。

(7) 研究部門委員会 (1回) (6/29)

専門部会の運営、改廃を掌理し、本会の目的のために必要な部会・研究会の設置について審議するため委員会を開催した。また全専門部会合同会議を開催し、合同公開講演会を企画した。

(8) 情報化委員会 (1回) (4/7)

本会の効率的・効果的運営に必要な情報化社会システムの活用方法について検討するため委員会を開催した。

(9) 役員選考委員会 (2回) (4/18、7/22)

2022年度、2023年～24年度理事・監事候補者選出のため、会長に指名された委員にて選考委員会を開催した。

(10) 監査会 (1回) (4/18)

定款第25条に掲げる監事の業務を執行するため、①理事会に出席、②監査会を開催した。

**【国際研究集会・国際交流事業】** (公益目的事業1)

多くの日本の研究者及び化学系企業が進出している海外の下記拠点において大学・研究機関・企業の技術者を対象とした技術交流会(学術講演会・見学会)を開催し、学術研究や異種産業技術間の連携・交流の場を提供する。会員・非会員に関係なく広範に参加を募り、我が国科学技術の振興と社会経済の発展に貢献することを目的とする。

1. 韓国工業化学会との交流

2022年度は情報交換及び化学啓発行事である韓国化学工業会の年次大会の内容などを本会の会誌及び韓国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

2. 日中化学産官学交流

第15回上海化学産官学交流会及び上海サロン<中止>

**【優れた研究業績の顕彰事業】** (公益目的事業2)

化学工業振興の見地より若い研究者及び技術者の優れた業績を発掘するとともに、化学技術の発展に向けての更なる貢献を期待し、その業績をたたえ激励することを目的として、2022年度からは「化学・環境技術賞」として顕彰を行う。

1. 2021年度第74回化学技術賞授賞者3件・7名並びに第22回環境技術賞授賞者5件・16名を表彰した。

2. 2022年度第75回「化学・環境技術賞」の審査・選定を行った。(3/20)

2022年度内における化学に関連する研究・技術で、工業的・社会的・学術的価値が明らかになったもの、および地球環境との共存並びにその維持・改善を積極的に意識し、方向付けがなされた新技術・改良技術で工業的・社会的・学術的価値が明らかになったものについて、本会の定款及び表彰規定に基づき、授賞候補者として4件・14名を選定した。

**【人材育成のための研修事業及び能力開発事業】** (公益目的事業3)

1. 研修塾

第44期(塾生17名)

会員企業より選抜された30歳代の技術者、研究者を対象に1年を通じて人格並びに人脈形成を図った。明日の産業界を担う次代の人材育成を主旨に、自らに討議主題を課すと共に自らの頭で考える力を涵養し、また、第一線でご活躍の講師を招いて、その人間性や思想に触れる中でお互いに研鑽し、資質を磨き、人脈並びに人格形成を図るために本講座6回、自主講座6回を開催した。

第1回・4月15日 <大阪科学技術センター・オンライン>

①塾頭、副塾頭挨拶

②塾頭講話「きんか その心は」

- 大阪公立大学大学院工学研究科 教授 松本 章一氏
- ③自己紹介
- ④副塾頭講話「数学の美と物質の美 - 鳥瞰による新世界 -」  
大阪大学産業科学研究所 招聘教授 宮田 幹二氏
- ⑤副塾頭講話「人間、環境、エネルギー ～自己紹介を兼ねて～」  
京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 藤田 健一氏
- 第2回・7月15日 <大阪科学技術センター・オンライン>
- ①「技術者倫理を考える」  
近畿化学協会 化学技術アドバイザー／日本ウレタン工業協会 技術顧問 和田 康一氏
- ②事例研究とグループディスカッション
- 第3回・8月19日 <大阪科学技術センター・オンライン>
- ①「日本のポピュラー音楽とナショナリズム」  
大阪公立大学大学院文学研究科 教授 増田 聡氏
- ②「高分子科学を基盤とする生体外細胞操作による組織構築：社会実装チャレンジ」  
大阪大学名誉教授・鹿児島大学名誉教授 明石 満氏
- 第4回・10月7日 <大阪科学技術センター・オンライン>
- ①「企業における研究開発の目的と実践方法」  
東ソー・ファインケム（株）代表取締役社長 江口 久雄氏
- ②「琵琶湖の化学動態 現状と未来 - 忍び寄る地球温暖化の影 -」  
京都大学 名誉教授・京都大学国際高等教育院 特定教授 杉山 雅人氏
- 第5回・12月9日 <大阪科学技術センター・オンライン>
- ①「結晶・巻貝 - 分子レベルで明らかにするキラルな形態形成の謎」  
中部大学先端研究センター特任教授・東京大学名誉教授 黒田 玲子氏
- ②「分子活性化：新しい有機合成反応を求めて」  
大阪大学名誉教授 茶谷 直人氏
- 第6回・2月10日 <大阪科学技術センター・オンライン>
- ①「分析化学から繰り広げた化学教育と教養教育」  
大阪教育大学名誉教授 横井 邦彦氏
- ②「130年ぶりとなるキログラムの定義改定とその微小質量計測技術への応用」  
(国研) 産業技術総合研究所計 量標準総合センター 招聘研究員 藤井 賢一氏
- (自主講座)
- 第1回・5月13日 <オンライン>
- ①自己・自社PR
- ②交流会
- 第2回・6月3日 <オンライン>
- ①自己・自社PR
- ②交流会
- 第3回・9月16日 <岡山県真庭市>
- ①見学：真庭SDGs・バイオマスツアー
- 第4回・11月11日 <(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所>
- ①見学：(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所
- ②アフターセッション（意見交換会）：かわのまちリビング
- 第5回・1月20日 <千葉大学環境フィールド科学センター植物工場研究会>
- ①講演：人工光栽培に関して
- ②見学：千葉大学環境フィールド科学センター植物工場

第6回・3月17日 <高エネルギー加速器研究機構、JAXA筑波宇宙センター>

- ①見学：高エネルギー加速器研究機構
- ②見学：JAXA筑波宇宙センター

2. 学術セミナー・講習会

本会の目的達成をするために事業企画委員会で化学に関する専門的な学術セミナー・学術講習会・学術講演会・見学会等の開催により、科学技術の普及・振興を図る。

第27講「研究開発リーダー実務講座2022」－企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは？－  
7月8日～12月2日（毎月1回開講・全6回）<大阪科学技術センター・オンライン>

第1回（7月8日）「研究開発リーダーのあり方」（58名）

- ① 趣旨説明
- ② 話題提供「研究開発者が持つべき「商品力」とは－あなたが開発した商品はなぜ売れないのか－」  
ケルセジェン・ファーマ ファウンダー 兼 SAB 小野 光則氏
- ③ グループディスカッション

第2回（8月3日）「新規事業への挑戦とアントレプレナーシップ」（54名）

- ① 話題提供「富士フィルムのトランスフォーメーション」  
富士フィルム(株)取締役 執行役員 アドバンストマーケティング研究所長・有機合成化学研究所 管掌 曾呂利 忠弘氏
- ② 話題提供「科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ」  
神戸大学大学院経営学研究科 教授 忽那 憲治氏
- ③ グループディスカッション

第3回（9月9日）「人財を活かすマネジメント」（55名）

- ① 話題提供「研究開発マネジメントとダイバーシティ推進」  
北海道大学名誉教授/(株)ウェストコーナー 代表取締役社長 西田 まゆみ氏
- ② 話題提供「三洋化成の社員のモチベーションを高める施策について」  
三洋化成工業(株) 代表取締役 執行役員副社長 研究管掌 前田 浩平氏
- ③ グループディスカッション

第4回（10月6日）「産学連携と知財戦略」（55名）

- ① 話題提供「産学連携を成功に導く知財戦略」  
特許庁 審判部24部門 審判官 進士 千尋氏
- ② 話題提供「産学連携によるイノベーション創出」  
神戸大学バリュースクール 教授・産官学連携本部 副本部長 坂井 貴行氏
- ③ グループディスカッション

第5回（11月2日）「イノベーションと変革」（52名）

- ① 話題提供「イノベーションを先導できる研究リーダーとは？」  
(国研) 医療基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所 所長 近藤 裕郷氏
- ② 話題提供「「月曜日が楽しみな会社にしよう！」研究開発の生産性を飛躍的に向上させ、イノベーションを加速する全体最適のマネジメント理論TOC」  
Goldratt Japan(株) CEO 岸良 裕司氏
- ③ グループディスカッション

第6回（12月2日）「ビジョンと独創的な製品開発」（55名）

- ① 話題提供「創薬への情熱－睡眠薬ロゼレムの誕生秘話－」  
東和薬品(株) 上席執行役員 原薬事業本部長/大地化成(株) 代表取締役会長 内川 治氏
- ② グループディスカッション

第2回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「バイオ技術者のための実践基礎講習」・10月27日／  
11月1日<オンライン>

(テーマ1・10月27日) 微生物・酵素のものづくり (61名)

① 「微生物による生産プロセス導入のススメ」

関西大学化学生命工学部 教授 片倉 啓雄氏

② 「生体触媒(酵素・微生物)の産業的利用」

大阪公立大学大学院工学研究科 教授 荻野 博康氏

③ 「種々の発酵製品と生産技術開発」

(株)カネカ R&B本部R&B戦略室 神田 彰久氏

④ 「化学工学的アプローチによるバイオものづくりの実践」

花王(株)技術開発センター 浦川 大樹氏

⑤ 「三菱ケミカルのバイオものづくり」

三菱ケミカル(株) 鶴見研究所 MMA研究室 渡辺 文昭氏

(テーマ2・11月1日) 医薬・細胞のものづくり (35名)

① 基調講演「動物細胞を用いたバイオ医薬生産の基礎から応用まで」

大阪大学大学院工学研究科 教授 大政 健史氏

② 「生きた細胞を製品とするための細胞製造性を考慮した製造設計の考え方」

大阪大学大学院工学研究科 講師 水谷 学氏

③ 「抗体・幹細胞製造におけるデジタル設計支援に向けたプロセスシステム工学」

東京大学大学院工学系研究科 教授 杉山 弘和氏

④ 「動物細胞培養によるものづくり」

次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 専務理事 村上 聖氏

近化若手フォーラム【情報交換会】・12月10日<King of kings> (9名)

近化若手フォーラム【第5回】・3月10日<滋賀県立琵琶湖博物館> (23名)

① 講演「江戸時代のフナズシに挑む」

滋賀県立琵琶湖博物館研究部 専門学芸員 橋本 道範氏

② ディスカッション(異分野の意見交換)

③ 滋賀県立琵琶湖博物館見学

④ 交流会

近化新春セミナー2023・1月10日<大阪科学技術センター・オンライン> (86名)

① 「万博への挑戦 ～ 私たち・関西の未来 ～」

(株)プロアシスト 代表取締役社長 / 関西経済同友会 代表幹事 生駒 京子氏

② 「素粒子ミュオンで明らかになった小惑星リュウグウの素性～太陽系科学の最前線～」

大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 教授 寺田 健太郎氏

近化資源・環境セミナー「温暖化から地球を守る、環境対応型プラントの展望」・2月27日<大阪科学技術センター> (28名)

① 「カーボンニュートラルを目指した化学のこれから」

早稲田大学先進理工学研究科 教授 関根 泰氏

② 「カーボンニュートラルを目指したバイオものづくりの推進」

神戸大学科学技術イノベーション研究科 教授 近藤 昭彦氏

③ 「SOECメタネーション技術によるグリーントランスフォーメーションへの挑戦」

大阪ガス(株)エネルギー技術研究所エグゼクティブフェロー 大西 久男氏

④ 「二酸化炭素から電池材料 ～カーボン循環社会への取り組み～」

SECカーボン(株) 技術開発部生産技術グループ 川合 祥太氏

第19回キンカ高分子化学研修コース・3月8日<大阪科学技術センター> (17名)

①「高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術」

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏

②「高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合」

住友重機械プロセス機器(株)技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏

③「高分子物性の基礎と応用～相溶性と高分子ブレンド」

滋賀県立大学工学部材料科学科 教授 徳満 勝久氏

④「プラスチック成形品の不具合～原因究明とその対策」

北陸先端科学技術大学院大学産学官連携 客員教授 樋口 裕思氏

⑤「研究開発と事業化～機能性ポリマーの企業化例を通じて」

(株)日本触媒 チーフテクノロジーマネージャー 上田 賢一氏

### 3. 学術講演会

社員総会終了後の特別講演会として、5月27日・大阪科学技術センター・オンラインの併用で開催した。(82名)

「地殻変動の世界と日本の進むべき道」

元外交官・日本電産(株)顧問・大阪工業大学客員教授 田邊 隆一氏

### 4. 男女共同参画推進フォーラム

社員総会終了後の男女共同参画推進フォーラムとして、5月27日・大阪科学技術センター・オンラインの併用で開催した。(82名)

「何故ダイバーシティ&インクルージョンに取り組むのか？」

日本アイ・ビー・エム(株)取締役副社長 福地 敏行氏

### 5. 見学会(科学技術週間協賛行事)

科学技術の普及啓発活動の一環として、科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図ることを目的とする。

科学技術週間協賛行事 <中止>

### 【化学に関する知識普及及び情報の提供事業】(公益目的事業4)

会誌「近畿化学工業界」を月刊誌として、化学工業に関する広巾な知識の普及と情報の提供を行うこと及び情報の交換の場とすることを目的として発行する。記事内容は共通する事項を網羅して、専門以外の幅広い化学分野の最先端の動きを掲載することにより、化学技術の普及と振興を図る。

1. 会誌「近畿化学工業界」(月刊、冊子版/電子版) 第74巻第4号(通巻第828号)～第75巻第3号(通巻839号)

### 【技術交流事業】(共益事業1)

特定分野に限らない学術講演会・サロン・見学会・交流会の開催により、科学技術の普及、振興を図る。

1. キンカ東京サロン

東京在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第157回 4月16日<オンライン> (12名)

「原子力発電の使用済燃料の地層処分等から考えるリスクコミュニケーション」

科学技術コミュニケーション研究所 代表 泉 優佳理氏

第158回 6月18日<オンライン> (11名)

「宇宙探査のミライを創造するロボットテクノロジー」

九州工業大学大学院工学研究院機械知能工学研究系 准教授 永岡 健司氏

第159回 9月17日<オンライン> (14名)

「企業におけるDX推進の要諦」

東京理科大学経営学部国際デザイン経営学科 教授 飯島 淳一氏

第160回 11月19日<オンライン> (10名)

「シミュレーションによる分離膜材料設計の試み」

工学院大学先進工学部環境化学科 教授 高羽 洋充氏

第161回 2月18日<オンライン> (14名)

「化学・材料領域におけるデータ駆動型技術開発の威力」

コニカミノルタ(株) 北 弘志氏、一杉 俊平氏

## 2. キンカ京都化学者クラブ

京都在住の会員のお世話による、斯界の第一人者を招いた化学(科学)に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

毎月第1土曜日を原則として京都大学楽友会館にて開催

第382回・4月2日・京都大学楽友会館(12名)

「ガラスの考古科学：元素分析および同位体比分析から見た古代ガラスの産地と交易」

(独)奈良文化財研究所都城発掘調査部 田村 朋美氏

第383回・5月7日・京都大学楽友会館(16名)

「超苦鉄質岩の化学風化と元素濃集プロセス」

関西学院大学生命環境学部環境応用化学科 助教 伊藤 茜氏

第384回・6月4日・京都大学楽友会館(17名)

「葡萄の美酒：科学と文化」

京都大学名誉教授 左右田 健次氏

第385回・7月2日・京都大学楽友会館(15名)

「42年間の教育・研究生生活」

秋田大学名誉教授・客員教授 小川 信明氏

第386回・8月6日・京都大学楽友会館(16名)

「強塩基性・高アルカリ度閉塞塩湖の化学」

京都大学名誉教授 杉山 雅人氏

第387回・9月3日・京都大学楽友会館(16名)

「化学反応で考える海底金属資源の形成過程」

神戸大学海洋底探査センター 教授 石橋 純一郎氏

第388回・10月1日・京都大学楽友会館(14名)

「富栄養化した干潟における微生物的窒素除去・貯留過程」

東邦大学理学部化学科 准教授 千賀 有希子氏

第389回・10月29日・京都大学百周年時計台記念館(33名)

(公財)海洋化学研究所76周年秋季講演会

第390回・12月3日・京都大学楽友会館(10名)

「同位体比分析による月形成過程の解明」

関西学院大学生命環境学部環境応用化学科 講師 岡林 識起氏

第391回・1月7日・京都大学楽友会館(11名)

「新春賀詞交換会」

第392回・2月4日・京都大学楽友会館（10名）

「ジオパークの教育的活用-地学教育の普及を目指して-」

京都教育大学教育学部 講師 亀田 直記氏

第393回・3月4日・京都大学楽友会館（13名）

「電気化学センサの製品開発と応用例」

(株)堀場アドバンスドテクノ開発本部ラボ・フィールドソリューションズ開発部 桑本 恵子氏

### 3. キンカつくばサロン

筑波在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い、会員交流・技術情報の交換を図った。

第22回・3月7日<筑波大学総合研究棟・オンライン>（55名）

「典型元素触媒反応を目指して」

筑波大学物理物質系化学域 教授 笹森 貴裕氏

### 4. 第74回新年交歓会・1月20日・大阪科学技術センター<中止>

化学並びに化学工業界の発展に尽くされた名誉会員をはじめ、大先輩をお招きして、産官学の会員が一堂に会して、化学技術に関する情報交換と交流を行う。

### 5. 化学技術アドバイザー会（キンカCA）

アドバイザー登録者（近畿化学協会正会員の有志97名）による自主運営とし、近畿化学協会での位置づけ（組織図）は、研究部門委員会（専門部会・目的研究会）の規定を準用する体制のもとで活動を行う。

会員企業及び一般企業から依頼により技術相談を行う活動と工学倫理研究会、化学教育研究会、安全研究会、MOT研究会では登録会員間の情報交換・懇談会及びこれまでの経験を生かした社会への貢献、啓発活動を行う。

技術相談日：随時対応

アドバイザー情報交換・懇談会（年4回）

工学倫理研究会：原則毎月1回（第4月曜日）

化学教育研究会：原則毎月1回（第2水曜日）

安全研究会：原則毎月1回（第1月曜日）

MOT研究会：原則毎月1回（第3水曜日）

【技術相談】申込 5件

【年次大会】6月6日<オンライン>（43名）

【情報交換・懇談会】6月6日<オンライン懇談会>（31名）、9月14日<懇談会>（15名）、11月28日<忘年会>（19名）、2月15日<懇談会>（11名）

（「」内は対面での参加者数）

【工学倫理研究会】<大阪科学技術センター・オンライン>

工学倫理の教授法について意見交換を重ねるとともに、大学・学校などへ講師の推薦を行った。

第206回（4/25・24「3」名）、第207回（5/23・20「5」名）、第208回（6/27・20「5」名）、第209回（7/25・22「5」名）、第210回（9/26・25「4」名）、第211回（10/24・23「3」名）、第212回（11/28・21「8」名）、第213回（12/19・21「7」名）、第214回（1/23・23「5」名）、第215回（2/27・25「4」名）、第216回（3/27・23「11」名）

【化学教育研究会】<オンライン>

学生（小学生から大学院まで）を対象として地球環境・産業に関わる化学教育支援及び専門化



学教育支援を行った。

第207回 (4/13・18名)、第208回 (5/11・16名)、第209回 (6/8・14名)、第210回 (7/13・12名)、第211回 (9/14・17名)、第212回 (10/12・9名)、第213回 (11/9・中止)、第214回 (12/14・10名)、第215回 (1/11・12名)、第216回 (2/8・10名)、第217回 (3/8・「3」名)

#### 【安全研究会】<オンライン>

公的機関及び企業・大学向けの教育資料作成と安全指導を行った。

第191回 (4/4・13名)、第192回 (5/9・14「2」名)、第193回 (6/6・15名)、第194回 (7/4・14「1」名)、第195回 (9/5・15名)、第196回 (10/3・14「2」名)、第197回 (11/7・12「1」名)、第198回 (12/5・15「4」名)、第199回 (1/16・15「2」名)、第200回 (2/6・15「1」名)、第201回 (3/6・12「2」名)

#### 【MOT研究会】<大阪科学技術センター・オンライン>

化学産業において実際に役立つ研究開発テーマの発掘と育成をめざした実践的技術経営の検証を行った。

第85回 (4/20・15「5」名)、第86回 (5/18・16「4」名)、第87回 (6/15・17「5」名)、第88回 (7/20・19「6」名)、第89回 (9/21・19「4」名)、第90回 (10/19・18「5」名)、第91回 (11/16・17「5」名)、第92回 (12/14・20「5」名)、第93回 (1/18・21「7」名)、第94回 (2/15・19「8」名)、第95回 (3/15・19「7」名)

### 【専門部会事業】 (共益事業2)

化学の専門分野に応じた9の各専門部会を設置し、各専門部会が部会の目的に沿って部会員の活動の場となり、部会員が協力して科学技術の振興を図る。部会員相互の学術的及び技術的知識の増進を図ることを目的として、例会(学術講演会)、基礎講習会、学術講習会、学術セミナー、討論会、シンポジウム、フォーラム、公開講演会、懇話会等を行う。

#### 第1部会(有機金属部会)

有機金属化学における基礎研究並びにスペシャリティケミカルズの開発に関する研究会として例会(学術講演会)・学術セミナー・討論会等の実施及び知識普及事業として部会機関誌 Organometallic News を刊行した。

第1回例会・4月20日<大阪科学技術センター・オンライン>(93名)

①「有機金属化学の旅職人」

大阪大学大学院薬学研究科 特任教授 真島 和志氏

②「新反応から錯体と計算へ」

京都大学名誉教授 村上 正浩氏

③「元素化学的視点からの有機金属化学」

京都大学理事・副学長(化学研究所 特任教授 兼務) 時任 宣博氏

第48回有機金属化学セミナー・6月15日<オンライン・オンデマンド配信>(185名)

①「遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識」

大阪公立大学大学院理学研究科 教授 大橋 理人氏

②「クロスカップリング反応」

京都大学大学院工学研究科 教授 藤原 哲晶氏

③「C-H官能基化」

大阪公立大学大学院理学研究科 教授 西村 貴洋氏

④「オレフィンメタセシス反応」

大阪公立大学大学院理学研究科 教授 神川 憲氏

⑤「遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成」

京都大学大学院理学研究科 教授 畠山 琢次氏

⑥「可視光レドックス触媒反応の基礎から応用」

日本工業大学基幹工学部応用化学科 准教授 小池 隆司氏

第2回例会・6月27日<大阪科学技術センター・オンライン> (68名)

①「直鎖状多座ホスフィンで構造規制した金属集合系の創成」

奈良国立大学機構 非常勤講師 棚瀬 知明氏

②「スピロ型キラル配位子の創製を基盤とするエナンチオ選択的触媒反応」

大阪大学産業科学研究所 招へい教授 笹井 宏明氏

③「カーボンリッチオルガノメタリックス-クラスターから分子エレクトロニクスへ」

東京工業大学名誉教授 穂田 宗隆氏

④「新反応・新現象を求めて」

東京工業大学名誉教授 岩澤 伸治氏

第68回有機金属化学討論会・9月6、7、8日<オンライン> (344名)

口頭発表 40件、ポスター発表 116件 合計 156件

第3回例会・11月11日<長崎大学文教町キャンパス・オンライン> (83名)

①「遷移金属触媒によるsp<sup>3</sup>炭素-水素結合活性化に基づく合成反応のデザイン・創出」

京都工芸繊維大学分子化学系 教授 大村 智通氏

②「エネルギー応答性金属錯体が拓くCO<sub>2</sub>還元」

名古屋大学学際統合物質科学研究機構 教授 斎藤 進氏

③「いくつかの楽しい分子との出会い」

九州大学先端物質化学研究所 教授 友岡 克彦氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン> (144名)

①「ケモインフォマティクス手法の開発と利用」

奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学領域 准教授 宮尾 知幸氏

②「メタン酸化カップリングを題材とした固体触媒インフォマティクスの実践」

北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス系 准教授 西村 俊氏

③「ポリマーインフォマティクス・エコシステムによる高分子材料開発」

(国研) 物質・材料研究機構統合型材料開発・情報基盤部門 データ駆動高分子設計グループ  
グループリーダー 内藤 昌信氏

④「実験スクリーニングと機械学習の融合利用による次世代太陽電池材料の探索」

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授 佐伯 昭紀氏

第4回例会・2月1日<京都大学宇治キャンパス> (31名)

①「求電子的アミノ化反応の最近の進展」

大阪大学大学院工学研究科 教授 平野 康次氏

②「遷移金属錯体触媒を活用する二酸化炭素を用いた有機合成反応」

京都大学大学院工学研究科 教授 藤原 哲晶氏

③「フロー研究が導く有機化学の高速化について」

北海道大学大学院理学研究院 教授 永木 愛一郎氏

部会機関誌 Organometallic News 2022 No. 2, 3, 2023 No. 1 (Web版), 2022 冊子体刊行

## 第2部会 (合成部会)

有機合成化学の基礎研究並びに医薬、農薬、エネルギー開発生体模倣材料の合成化学的開発に関する研究会として合成フォーラム等を実施した。部会内に設置されたフロー・マイクロ合成研究会では、自動

合成やマイクロリアクターを使った合成に関する研究会として研究会（学術講演会）、公開講演会&展示会等を実施した。

第1回合成フォーラム・6月10日<大阪科学技術センター・オンライン>（51名）

①「創薬化学におけるAI応用の可能性と課題」

摂南大学薬学部 准教授 河合 健太郎氏

②「創薬研究におけるAI活用の現状と展望」

塩野義製薬（株）医薬研究本部先端医薬研究所ケモインフォマティクスグループ 小倉 圭司氏

③「機械学習を利用するマイクロフロー合成法開発」

名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授 布施 新一郎氏

第2回合成フォーラム・1月23日<大阪科学技術センター・オンライン>（43名）

①「ラジカル触媒」

京都大学化学研究所 教授 大宮 寛久氏

②「アルキル基C-H結合の直接変換で拓く有機合成新戦略」

京都工芸繊維大学分子化学系 教授 大村 智通氏

③「天然物合成における試行錯誤 ～複雑な構造を読み解く～」

東京工業大学大学院理学院化学系 教授 大森 建氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン>[全専門部会と共催] [前出]

[フロー・マイクロ合成研究会]

第94回研究会・4月22日<大阪科学技術センター・オンライン>（99名）

①「近赤外線（NIR）センサーによる合成モニタリング」

（株）ビートセンシング 専務取締役 芹澤 克氏

②「低エントロピー反応空間としての不均一系触媒の開発と連続フロー反応への展開」

東京大学大学院理学系研究科化学専攻 助教 宮村 浩之氏

③「デジタル有機合成とフロー反応」

九州大学大学院薬学府創薬科学専攻 教授 大嶋 孝志氏

第36回公開講演会—講演&展示—・8月5日<大阪科学技術センター・オンライン>（192名）

①「工業化を志向したフロー合成研究」

大阪公立大学大学院理学研究科 准教授 福山 高英氏

②「ツインカラム連続クロマトグラフィーを用いたバイオ医薬品の効率的生産」

（株）ワイエムシィ 経営戦略室 室長 黒田 典孝氏

③「出展企業プレゼンテーション」

④「メカノケミカル有機合成の可能性：高速・溶媒削減・新反応」

北海道大学大学院工学研究院 教授 伊藤 肇氏

⑤「Selectivity control by flow chemistry」

University of Rouen, France Julien Legros氏

⑥「有機電解合成の新展開：フローケミストリーや機械学習と組み合わせると何が出来るか？」

岡山大学学術研究院自然科学学域 教授 菅 誠治氏

=展示会=

（株）旭製作所、（株）朝日ラボ交易、（株）タクミナ、（株）DFC、（株）ナード研究所、（株）日本サイエンスコア、（株）ノリタケカンパニーリミテド、富士テクノ工業（株）、マックエンジニアリング（株）、（株）ワイエムシィ

第96回研究会・11月18日<大阪科学技術センター・オンライン>（77名）

①「フローマイクロリアクター適用におけるスケールアップ時の課題やトラブルと対策-アニオン重合での事例を交えて」

味の素(株) アミノサイエンス事業本部バイオ・ファイン研究所 遠藤 裕太氏  
②「最少学習データによるデータ駆動型精密有機合成反応の開発」

大阪大学産業科学研究所 准教授 滝澤 忍氏

③「不飽和結合への電子注入制御に基づくカルボアニオンの発生と利用」

京都大学大学院理学研究科 教授 依光 英樹氏

第97回研究会・1月27日<大阪大学シグマホール・オンライン>

[学術変革領域研究(A)第3回成果報告会: デジタル化による高度精密有機合成の新展開] 合同開催

①「多孔質高分子固定化触媒に基づく連続式流通リアクター」

九州大学大学院工学研究院化学工学部門 教授 三浦 佳子氏

②「医薬品製造向けシングルユースマイクロリアクタシステムの開発」

(株)日立製作所 浅野 由花子氏

③「エナミンを経由する光ペルフルオロアルキル化のフロー合成への展開」

お茶の水女子大学理学部 教授 矢島 知子氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン> [全専門部会と共催] [前出]

### 第3部会 (触媒・表面部会)

触媒化学の基礎研究並びにファインケミカルズ開発の触媒設計等に関する研究会としてキャタリストクラブ例会(学術講演会)、学術セミナー、学術講習会、国際シンポジウム等を実施した。

第1回キャタリストクラブ例会・5月17日<オンライン>(31名)

①「モリブデン酸化物への欠陥導入による高機能化と触媒反応への応用」

大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻 准教授 桑原 泰隆氏

②「ポリオレフィン系プラスチックの低温水素化分解反応に有効な固体触媒系の開発」

大阪公立大学人工光合成研究センター 准教授 田村 正純氏

入門触媒科学セミナー・10月11日~12日<大阪科学技術センター>(41名)

①開会挨拶

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏

②触媒科学の基本概念ーこれだけは知っておこうー

関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科 教授 池永 直樹氏

③錯体の触媒作用ー遷移金属錯体の基礎と有機合成反応における利用ー

奈良女子大学大学院自然科学系 教授 浦 康之氏

④固体表面の酸・塩基点とその触媒機能

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 山本 孝氏

⑤金属酸化物触媒ー触媒機能の宝庫ー

京都工芸繊維大学材料化学系 准教授 細川 三郎氏

⑥金属ナノ粒子触媒ー構造と触媒作用及び設計法ー

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏

⑦触媒調製化学ー基礎から最近のナノ構造触媒までー

大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

⑧閉会挨拶

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 満留 敬人氏

国際シンポジウム (Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis (OKCAT2022))

・11月11日<大阪公立大学>(57名)

①Opening Remarks

- ②Short Oral Presentation (Introduction of Poster Presentations)
- ③<Plenary Lecture, PL-01> “Reduction of the Use of Precious Metals in Three-Way-Catalysts” Prof. Tsunehiro Tanaka (Kyoto University)
- ④<Keynote Lecture, KL-01>  
“First-principles and Machine Learning Techniques for an On-line Optimization of Thermal Catalytic Processes” Prof. Supareak Praserttham (Chulalongkorn University)
- ⑤Poster Presentation (group 1)
- ⑥Poster Presentation (group 2)
- ⑦<Plenary Lecture, PL-02 >  
“Development of Customized Water Gas Shift Catalyst” Prof. Hyun-Seog Roh (Yonsei University)
- ⑧<Keynote Lecture, KL-02> “Direct Synthesis of Polycarbonates from CO<sub>2</sub> and Diols” Prof. Masazumi Tamura (Osaka Metropolitan University)
- ⑨<Invited Lecture, IL-01> “Aerosol Processing for Tailored Production of Dry Methane Reforming Catalysts” Prof. Kyubock Lee (Chungnam National University)
- ⑩<Invited Lecture, IL-02> “Novel Strategy for Biomass Utilization: Efficient Catalytic Conversion of Sugars to Valuable Chemicals” Prof. Sho Yamaguchi (Osaka University)
- ⑪Awards Ceremony for Poster Presentations and Closing Remarks

ナノ材料の表面分析講習・11月24～25日<近畿大学東大阪キャンパス> (28名)

- |                             |                                |      |
|-----------------------------|--------------------------------|------|
| 開会挨拶                        | 近畿大学理工学部 教授 古南                 | 博氏   |
| ①表面分析概論                     | 近畿大学理工学部 教授 古南                 | 博氏   |
| ②組成分析 (AAS, ICP-AES, XRF)   | 大阪公立大学大学院工学研究科 准教授 亀川          | 孝氏   |
| ③光電子分光法 (XPS, UPS)          | 大阪公立大学大学院工学研究科 准教授 堀内          | 悠氏   |
| ④X線回折 (XRD)                 | 大阪公立大学人工光合成研究センター 特任准教授 東      | 正信氏  |
| ⑤紫外可視・光ルミネセンス (UV-vis, PL)  | 京都大学大学院人間・環境学研究科 助教 山本         | 旭氏   |
| ⑥顕微鏡 (TEM・SEM・STM・AFM)      | 近畿大学理工学部 講師 田中                 | 淳皓氏  |
| ⑦昇温スペクトル (TPD, TPR)         | 大阪大学大学院工学研究科 准教授 桑原            | 泰隆氏  |
| ⑧X線吸収微細構造 (XAFS)            | 近畿大学理工学部応用化学科 講師 朝倉            | 博行氏  |
| ⑨電子スピン共鳴 (ESR)              | 大阪公立大学大学院工学研究科 教授 松岡           | 雅也氏  |
| ⑩核磁気共鳴 (NMR)                | 大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 水垣           | 共雄氏  |
| ⑪赤外・ラマンスペクトル (FT-IR, Raman) | 関西大学環境都市工学部エネルギー環境・化学工学科 准教授 福 | 康二郎氏 |
| ⑫質量分析 (MS)                  | 神戸大学大学院工学研究科 助教 谷屋             | 啓太氏  |
| ⑬総論・ケーススタディー                | 大阪公立大学人工光合成研究センター 教授 吉田        | 朋子氏  |

閉会挨拶

近畿大学理工学部 教授 古南 博氏

第2回キャタリストクラブ例会・1月17日<大阪科学技術センター> (23名)

①「環境・エネルギーの課題に寄与する不均一触媒反応をテーマとして」

神戸大学大学院工学研究科 応用化学専攻 教授 西山 寛氏

②「触媒劣化から展開した触媒開発」

徳島大学大学院社会産業理工学研究部・研究担当副部長 教授 杉山 茂氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン> [全専門部会と共催] [前出]

#### 第4部会 (ヘテロ原子部会)

脱硫、脱硝に伴う副生物の有効利用、ヘテロ原子化学の基礎研究並びに応用開発に関する研究会として懇話会 (学術講演・見学会) 等を実施した。

第1回懇話会・7月29日<大阪科学技術センター・オンライン> (35名)

①「炭素-フッ素結合切断を基盤とするポリフルオロ化合物の自在変換」

大阪公立大学大学院理学研究科 教授 大橋 理人氏

②「三元系金属-ヘテロ原子化合物による窒素分子の活性化と変換」

京都大学化学研究所附属元素科学国際研究センター 教授 大木 靖弘氏

③「クロスカップリングを用いる含硫黄フェナセン型分子の合成と有機半導体としての利用」

岡山大学異分野基礎科学研究所 教授 西原 康師氏

第2回懇話会・12月1日, 5日, 6日<オンライン>

①「複雑分子の合成効率化を目指して」 (12月1日) (22名)

慶應義塾大学理工学部応用化学科 准教授 佐藤 隆章氏

②「高反応性超原子価ヨウ素種を用いた有機化学反応」 (12月5日) (22名)

北海道大学大学院薬学研究院薬品製造化学研究室 准教授 吉野 達彦氏

③「トリフルオロメチル化反応: 深化と展開」 (12月6日) (23名)

群馬大学大学院理工学府分子科学部門 教授 網井 秀樹氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン> [全専門部会と共催] [前出]

第3回懇話会・3月13日<大阪科学技術センター・オンライン> (27名)

①「グリーン触媒としての金属ナノ粒子とその特性を利用した極微量金属種での反応」

大阪工業大学工学部応用化学科 准教授 大高 敦氏

②「反応開発におけるヘテロ元素の特性」

大阪公立大学大学院工学研究科 教授 小川 昭弥氏

#### 第5部会 (バイオ部会)

バイオテクノロジーの基礎研究並びに工業生産技術開発に関する研究会として、従来、企業や研究機関の見学と講演という内容で例会 (学術講演会) 等を実施した。

第1回例会・7月13日<オンライン> (22名)

①「酵母の窒素飢餓ストレス応答制御による分岐鎖アルコール耐性の向上とその応用」

京都大学大学院農学研究科 准教授 黒田 浩一氏

②「バイオマス有効利用を目指した耐熱性酵素の開発と酵素の耐熱化」

松谷化学工業(株)研究所 顧問 石川 一彦氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン> [全専門部会と共催] [前出]

## 第6部会（機能性色素部会）

機能性色素材料の基礎研究並びにデザイン、合成、物性等に関する研究会として例会（学術講演会）、公開講演会を実施した。

第106回例会「人工光合成の最近の進展」・5月23日<オンライン>（46名）

- ① 「人工光合成型化学原料製造技術の実現に向けた取り組み」

三菱ケミカル（株）Science & Innovation Center Inorganic Materials Laboratory  
Setoyama Laboratory 堀内 出氏

- ② 「色素と生体触媒との複合系を用いた可視光エネルギーによる二酸化炭素の有価物質への変換」  
大阪公立大学人工光合成研究センター 教授 天尾 豊氏

- ③ 「二酸化炭素の資源化を目指した人工光合成の開発」

東京工業大学大学院理学院化学系 教授 石谷 治氏

見学・研修セミナー [エレクトロニクス部会と共催] <中止>

合同公開講演会「有機材料とエレクトロニクス」・10月19日<大阪科学技術センター・オンライン> [エレクトロニクス部会と共催]（61名）

- ① 「フレキシブル印刷型有機センサーの新展開と実用化検討」

山形大学有機エレクトロニクス研究センター 卓越研究教授 時任 静士氏

- ② 「可能性自己ドーブ型導電性高分子の開発」

東ソー(株)有機材料研究所ファインケミカルグループ グループリーダー 箭野 裕一氏

- ③ 「次世代通信に向けた電磁波制御部材の開発」

大日本印刷(株)研究開発・事業化推進センター基盤技術開発本部製品開発ユニット  
課長 松浦 大輔氏

- ④ 「カーボン/結晶1次元材料による超フレキシブルエレクトロニクス」

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授 中村 雅一氏

第107回例会「構造色技術の最近の進展」・11月15日<大阪科学技術センター・オンライン>（35名）

- ① 「コロイド粒子集合体を利用した光の三原色による構造発色性材料の開発」

名古屋大学大学院工学研究科 物質制御工学専攻 准教授 竹岡 敬和氏

- ② 「オーガナイズド・マイクロフィブリレーション (Organized Microfibrillation)  
ー構造色をベースにした機能性印刷を創成するスケラブルな方法ー」

京都大学高等研究院 物質ー細胞統合システム拠点 教授 Easan Sivaniah氏

- ③ 「インクジェットによる構造色デジタル印刷技術」

富士フイルム（株）アドバンストマーキング研究所 統括マネージャー 高田 勝之氏  
佐々田 美里氏

- ④ 「レクサスの外板塗装の技術」

トヨタ自動車（株）モビリティ材料技術部 樹脂・塗装設計室 月森 隆雄氏

第108回例会「クロミズム材料の進展」・1月24日<大阪科学技術センター・オンライン>（34名）

- ① 「アリアル架橋イミダゾール二量体のフォトクロミズム」

青山学院大学理工学部化学・生命科学科 教授 阿部 二郎氏

- ② 「押圧により吸収色に変化する力色材料：フルオレニリデンーアクリダン」

名古屋大学大学院工学研究科化学システム工学専攻 教授 松尾 豊氏

- ③ 「メタロ超分子ポリマーのエレクトロクロミック特性とデバイス化」

(国研) 物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点電子機能高分子グループ  
グループリーダー 樋口 昌芳氏

④「眼鏡用調光レンズの開発」

HOYA (株) ビジョンケア部門 川上 宏典氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン>[全専門部会と共催] [前出]

第7部会 (エレクトロニクス部会)

電子材料の新素材研究と学際領域の技術開発に関する研究会として例会(学術講演会)、研修セミナー、公開講演会等及び、部会機関誌 Electronics Communicationsを刊行した。

見学・研修セミナー [機能性色素部会と共催] [前出] <中止>

合同公開講演会「有機材料とエレクトロニクス」・10月19日<オンライン>[機能性色素部会と共催] [前出]

第1回研究会「二次電池材料の新しい潮流」・6月8日<オンライン> (30名)

①「無機ガラス材料を用いた全固体電池の開発」

大阪公立大学大学院工学研究科 教授 林 晃敏氏

②「亜鉛二次電池の課題とその解決技術について」

公立諏訪東京理科大学工学部 准教授 小川 賢氏

③「有機材料に蓄電する軽量で高容量な二次電池」

(国研) 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域電池技術研究部門  
分子応用エネルギーデバイス研究グループ グループ長 八尾 勝氏

第2回研究会「環境調和型プラスチックの研究開発動向」・11月22日<大阪科学技術センター・オンライン> (20名)

①「バイオプラスチックの開発動向」

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授 宇山 浩氏

②「木質リグニン循環資源化のためのペプチド基盤人工酵素の開発」

帝京科学大学生命環境学部生命科学科 教授 高谷 光氏

③「生分解性ポリアミドと生分解性樹脂の海水生分解性」

(国研) 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 生体分子創製研究グループ  
主任研究員 中山 敦好氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン>[全専門部会と共催] [前出]

第3回研究会「スピントロニクス研究の新展開」・2月3日<大阪科学技術センター・オンライン> (16名)

①「X-spintronics」

京都大学化学研究所材料機能化学研究系 教授 小野 輝男氏

②「真空蒸着法で作製した有機分子薄膜中の純スピン流輸送」

大阪公立大学大学院工学研究科電子物理系専攻 教授 仕幸 英治氏

③「電界制御スピントロニクスに向けて」

(国研) 産業技術総合研究所 新原理コンピューティング研究センター不揮発メモリチーム  
チーム長 野崎 隆行氏

部会機関誌 Electronics Communications No. 38 電子版刊行

第8部会 (コンピュータ化学部会)

物質のデザイン、生産工程のコントロール、人工知能開発研究に関する研究会として例会(学術講演会)、公開講演会、公開セミナー等を実施した。



公開講演会（第113回例会）「材料・バイオ系における最新AIの活用」・6月3日<オンライン>  
(39名)

- ① 「データサイエンスを活用した分子設計・材料設計・プロセス設計の研究例」  
明治大学工学部応用化学科 准教授 金子 弘昌氏
- ② 「機械学習によるタンパク質立体構造予測の進展」  
(国研) 産業技術総合研究所人工知能研究センター 研究チーム長 富井 健太郎氏
- ③ 「汎用ニューラルネットワークポテンシャル「PPF」を用いた材料探索」  
(株)Preferred Computational Chemistry 技術営業部 マネージャー 入口 広紀氏

公開講演会（第114回例会）「量子コンピュータの最近の進展」・11月9日・大阪科学技術センター（13名）

- ① 「日本で初めての商用ゲート型量子コンピュータの導入と進展」  
日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所フィジカル・インフォマティクス担当 中野 大樹氏
- ② 「量子コンピュータを用いる量子化学計算の基礎と展望」  
慶応義塾大学工学部 准教授 畑中 美穂氏
- ③ 「量子コンピュータを用いた実材料の量子化学計算と材料設計の研究事例」  
三菱ケミカル(株) R&D変革本部Science & Innovation Center 上席主幹研究員 高 玘氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン>[全専門部会と共催][前出]

公開講演会（第115回例会）「光エネルギー変換材料に対するシミュレーション・インフォマティクスの最先端」・3月15日<理化学研究所計算科学研究センター>（17名）

- ① 「富岳」見学会
- ② 「実験スクリーニングと機械学習による非鉛ペロブスカイト太陽電池の探索」  
大阪大学大学院工学研究科 教授 佐伯 昭紀氏
- ③ 「光エネルギー変換材料の計算科学」  
横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科 特任教授 山下 晃一氏
- ④ 「量子化学に基づく強電子相関系の分子物性の解析ー光合成酵素発生中心 (PSII-OEC)へのアプローチー」  
大阪大学大学院理学研究科 助教 川上 貴資氏

## 第9部会（重合工学部会）

重合体製造プロセスに関する研究会として例会（学術講演会）、学術講習会等を実施した。

第1回例会・6月17日・<大阪科学技術センター・オンライン>（40名）

- ① 「PVCの熱安定化メカニズムと安定剤」  
堺化学工業(株)堺事業所第二工場技術課 課長 岡井 秀人氏
- ② 「塩ビ樹脂用滑剤の構造と機能について」  
理研ビタミン(株)化成品改良剤開発部化成品技術第3グループ グループリーダー 志村 潤氏

重合プロセスの基礎講習会・10月20日～21日<連合会館>（20名）

- ① 「ポリマー製造プロセスの構成と単位操作」  
浅野生産革新・攪拌研究所 主宰 浅野 健治氏
- ② 「高分子合成の基礎」  
神戸大学大学院工学研究科 教授 南 秀人氏
- ③ 「重合機構と反応速度」  
大阪公立大学大学院工学研究科 教授 安田 昌弘氏
- ④ 「微粒子生成の重合反応」  
福井大学大学院工学研究科 准教授 鈴木 清氏

⑤ 「重合プロセスの操作設計」

神戸大学大学院工学研究科 教授 大村 直人氏

⑥ 「重合反応装置の基本設計と事例紹介」

住友重機械プロセス機器(株)技術部攪拌技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏

⑦ 「PVCものづくりの現状と将来—プロセスから製品化—」

元(株)カネカ 一色 実氏

重合工学レクチャーシリーズ No. 9

「プラスチックのケミカルリサイクル」・1月12日<大阪科学技術センター>(30名)

① 「カーボンニュートラルに関する海外の動向と日本の課題」

浅岡法律事務所 弁護士/(特)気候ネットワーク 理事長 浅岡 美恵氏

② 「動静脈連携を志向したプラスチックリサイクル研究開発事例—熱分解法によるプラスチックの化学原料化—」

東北大学大学院環境科学研究科 教授 吉岡 敏明氏

③ 「ガス化技術による廃プラスチックのケミカルリサイクル」

荏原環境プラント(株)企画部市場開発企画課 課長 佐藤 郁磨氏

④ 「使用済プラスチックの再利用 —アンモニアなどの製造—」

昭和電工(株)基礎化学品事業部企画管理部プラスチックケミカルリサイクル推進室  
室長 栗山 常吉氏

⑤ 「マイクロ波による廃プラスチックのケミカルリサイクル」

マイクロ波化学(株)研究開発本部 第1開発室 室長 木谷 径治氏

全専門部会合同公開講演会「データサイエンスと実験化学の融合」・1月31日<大阪科学技術センター・オンライン>[全専門部会と共催][前出]

**【学協会との連携及び合同事務局の運営事業】** (共益事業4)

1. 学協会との連携及び合同事務局運営事業

一般社団法人近畿化学協会・公益社団法人日本化学会近畿支部・公益社団法人化学工学会関西支部・公益社団法人日本分析化学会近畿支部・公益社団法人有機合成化学協会関西支部の5法人で「合同事務局運営委員会」を組織して合同事務局の運営を行った。

2. 関連学協会協賛行事

化学分野の学術団体が主催する学術セミナー・学術講演会などの行事に協賛し、内容を会誌などで会員に周知した。会員が行事に参加する場合は各主催者で定めた割引費用で参加できる。

## 2022年度事業報告の付属明細書

2022年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上